

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【公表番号】特表2017-512164(P2017-512164A)

【公表日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2016-574518(P2016-574518)

【国際特許分類】

B 6 5 D	65/40	(2006.01)
B 3 2 B	27/10	(2006.01)
B 0 5 D	1/36	(2006.01)
B 0 5 D	7/00	(2006.01)
B 6 5 D	81/24	(2006.01)

【F I】

B 6 5 D	65/40	D
B 3 2 B	27/10	
B 0 5 D	1/36	Z
B 0 5 D	7/00	F
B 6 5 D	81/24	D

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月12日(2018.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

セルロース纖維を含む板紙基材を提供する工程と、
前記基材の少なくとも一方の表面を、結合剤及び金属塩で処理する工程と、
前記処理された表面の少なくとも一部分をインクで印刷する工程と、
前記印刷された表面上に少なくとも一つのポリマー層を塗布する工程と
を含む、包装材料を製造する方法。

【請求項2】

前記結合剤が、ミクロフィブリル化セルロース(MFC)、でんぶん、ポリダドマック、カルボキシメチル・セルロース(CMC)、ポリビニルピロリドン(PVP)、ポリビニルアルコール(PVA)、ポリエチレンイミン(PEI)、ポリエチレングリコール(PEG)、及び/又は、これらの任意の組み合わせ若しくは修飾されたものを含む群から選択される、請求項1記載の方法。

【請求項3】

ミクロフィブリル化セルロース(MFC)が、少なくとも0.1g/m²の量で前記表面に塗布される、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

でんぶんが、少なくとも0.1g/m²の量で前記表面に塗布される、請求項1から3までのいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

ポリダドマックが、少なくとも0.05g/m²の量で前記表面に塗布される、請求項1から4までのいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記結合剤が、金属塩による前記表面の前記処理に先立って、別の工程で塗布される、請求項 1 から 5 までのいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

結合剤及び金属塩による前記処理が、前記板紙基材の前記表面に、結合剤及び金属塩を含む組成物を添加することによりなされる、請求項 1 から 5 までのいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

前記金属塩が、少なくとも $0.01 \text{ g} / \text{m}^2$ の量で、好ましくは、少なくとも $0.1 \text{ g} / \text{m}^2$ の量で前記表面に塗布される、請求項 1 から 7 までのいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記ポリマー層が、ポリエチレン(PE)及び／若しくはポリエチレンテレフタレート(PET)、ポリプロピレン(PP)及び／若しくはポリ乳酸(PLA)、並びに／又は、これらの任意の生物由来の材料を含む、請求項 1 から 8 までのいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

板紙基材と、
結合剤を含む、最も内側の第 1 の層と、
前記第 1 の層に塗布された、金属塩を含む第 2 の層と、
前記第 2 の層の少なくとも一部分に印刷された、水性ベースのインクと、
印刷された前記第 2 の層に塗布された、熱可塑性ポリマー層と
を含む包装材料。

【請求項 11】

板紙基材と、
結合剤及び金属塩を含む、最も内側の層と、
前記最も内側の層の少なくとも一部分に印刷された、水性ベースのインクと、
印刷された前記最も内側の層に塗布された、熱可塑性ポリマー層と
を含む包装材料。